

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	西武文理大学
設置者名	学校法人 文理佐藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
サービス経営学部	サービス経営学科	夜・通信			24	24	13	
	健康福祉マネジメント学科	夜・通信			26	26	13	
看護学部	看護学科	夜・通信			16	16	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

サービス経営学部：一覧表をホームページで公表 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/wp-content/uploads/jitsumu_service2021.pdf
看護学部：一覧表をホームページで公表。 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/wp-content/uploads/2021年度実務経験授業科目一覧看護.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	西武文理大学
設置者名	学校法人 文理佐藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.bunri-c.ac.jp/data/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社相談役	2019.4.24 ～ 2023.4.23	広報、人事
非常勤	株式会社 取締役会長兼社長	2019.4.24 ～ 2023.4.23	企画財務
(備考) 理事定数9人のうち外部理事5人。うち2人について記載。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	西武文理大学
設置者名	学校法人 文理佐藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(サービス経営学部)</p> <p>シラバスの作成について「シラバス作成要領」を定め、これに添って授業科目担当者がシラバスを作成している。また、授業科目担当教員が作成したシラバスは教育サービス委員会(教務委員会)が「シラバス作成要領」に従って作成されているか確認が行われている。</p> <p>シラバスは毎年度、期末に上記により作成し、内容を更新している。また、シラバスは毎年度更新したものを本学のホームページに掲載、公表し、閲覧に供している。</p> <p>(看護学部)</p> <p>教務委員会が「シラバス作成要領」を定め、授業担当者が講義概要(シラバス)を作成している。シラバスには、科目の概要、到達目標、毎回の授業内容と方法、事前・事後課題、また成績評価の方法や履修に必要な要件、その科目と関連する科目、その科目がどのディプロマ・ポリシーに関連するのかを明記することになっている。</p> <p>作成された講義概要(シラバス)は、教務委員会により、当該要領に沿って作成されているか、内容は適切であるかの確認が行われている。</p> <p>講義概要(シラバス)は毎年度、期末に上記のとおり作成を行い、内容を更新している。また、講義概要(シラバス)は毎年度更新したものを冊子として年度当初に全学生に配布する他、本学のホームページ上に掲載公表し、閲覧可能な状態にしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>授業計画(シラバス)一覧</p> <p>(サービス経営学部)</p> <p>https://aaa.bunri-c.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010</p> <p>(看護学部)</p> <p>https://aaa.bunri-c.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EN&opi=mt0010</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(サービス経営学部)

学修成果の評価方法については、サービス経営学部「履修要綱」に記載し、その内容に従って評価を行っている。成績評価を受けるためには、履修登録した授業科目の総授業回数の3分の2以上の出席を前提としている。

4年次の「卒業研究」では、卒業研究報告書（論文や業績の報告）を提出する。卒業研究報告書の提出時期及び提出方法の概要を「履修要綱」に記載している。卒業研究報告書の様式、体裁、提出期日、提出方法の詳細及び評価について、「卒業研究報告書提出要領」で定めている。

なお、授業科目ごとの評価方法については、シラバスに記載している。

(看護学部)

学修成果の評価方法については、看護学部「履修要綱」に定め、その内容に従って評価を実施している。なお、成績評価を受けるためには、講義科目は、総授業回数の3分の2以上の出席、実習科目は、総時間数の5分の4以上の出席を前提としている。授業科目ごとの評価方法については、講義概要（シラバス）に記載し、公表している。

具体的な評価方法については教科ごとに異なり、試験やレポートだけでなく、技術テスト、学生の自己評価や相互評価、看護実践力の総合評価などを取り入れている。

学生の学習意欲の把握の方法として、教科ごとに「コメント用紙」を授業終了時に配布し、学生の授業の理解度や疑問点の把握、意欲の把握などを行っている。また各教科の最終回に「授業評価アンケート」を実施し、当該科目に対する学生の評価を得ており、この項目の中にも教科への学修への取り組み姿勢や意欲などを評価する項目が含まれている。

4年次の当初に「看護研究方法」を開講し、一連の研究の進め方とデータ分析方法、研究計画書の作成、研究倫理、論文のまとめ方などの方法を指導している。また卒業論文の様式、体裁、提出期日、提出方法の詳細および評価について、「卒業研究報告書提出要領」で定め、4年次年度当初にオリエンテーションを行っている。

「看護研究方法論」の進行に沿って学生は、研究計画書を作成し、人を対象とした研究の場合には研究倫理審査を受けたうえで研究計画を実施し、学生個々が研究卒業論文を完成させ、成果発表や振り返りを卒業研究ゼミごとに行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(サービス経営学部)</p> <p>学生自身が学修結果を自己管理する際の総合的尺度として GPA を採用していること、その基準をサービス経営学部「履修要綱」に記載している。</p> <p>具体的には、各科目の成績を、その得点に応じて5段階 (S…4.0、A…3.0、B…2.0、C…1.0、D・F…0) のグレード・ポイントとして数値化し、そのグレード・ポイントに科目の単位数を加味して平均値を計算する方法で GPA を算出している。</p> <p>GPA を基にサービス経営学部の成績分布状況を把握しており、個々の学生への指導に用いているほか、学科登録や奨学生、各種表彰、ゼミ等の選考の際にも資料として使用している。</p> <p>(看護学部)</p> <p>成績評価については、客観的な指標として GPA を「履修要綱」に定めている。</p> <p>具体的には、各科目の成績を、その得点に応じて5段階 (S…4.0、A…3.0、B…2.0、C…1.0、D・F…0) のグレード・ポイントとして数値化し、そのグレード・ポイントに科目の単位数を加味して平均値を計算する方法で GPA を算出している。</p> <p>GPA を基に看護学部の成績分布状況を把握している。個々の学生への学修成果に対する指導に用いているほか、保健師履修生の選抜、実習グループ編成、奨学生選抜、各種表彰の際にも資料として使用している。</p> <p>学生自身の GPA ならびに学年平均 GPA は、年に2度の成績通知を通じて、本人および保護者への通知により開示している。</p> <p>また、本学部では GPA に拠るところではないが、2年次終了段階で1年次、2年次に配当のある、専門科目および専門基礎科目の必修単位の全てを取得していることを3年次への進級条件とする進級制限を設けている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>G P Aの算出方法を記載した学部の「履修要綱」を本学ウェブサイトにて公表</p> <p>(サービス経営学)</p> <p>https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/curriculum/youkou_service/</p> <p>(看護学部)</p> <p>https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/curriculum/youkou_nurse/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

	<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(サービス経営学部)</p> <p>卒業の認定方針については、ディプロマ・ポリシーを定め、サービス経営学部「履修要綱」に記載している。</p> <p>具体的には、所定の期間在学し、卒業研究をはじめ卒業要件となる単位を修得し、サービス経営学に必要と定める能力を有している者に対して学士（サービス経営学）の学位を授与している。</p> <p>(看護学部)</p> <p>卒業の認定方針については、ディプロマ・ポリシーを定め、看護学部「履修要綱」に掲載している。</p> <p>具体的には、所定の期間在学し、卒業要件となる単位を修得し、看護学を探究する能力、看護専門職の担うべき役割を追求するために必要と定める能力を有している者に対して学士（看護学）の学位を授与している。</p> <p>卒業要件の認定は、各学生の4年間の履修科目と成績、単位取得状況を示した一覧表を作成し、教授会において各学生が卒業要件を満たしているかを確認したうえで卒業の認定を行っている。</p>
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>(サービス経営学部)</p> <p>ディプロマ・ポリシー 履修要綱 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/curriculum/youkou_service/</p> <p>3つのポリシー https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/outline/three-policy/</p> <p>評価と認定の基準 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/disclosure/standard/</p> <p>(看護学部)</p> <p>ディプロマ・ポリシー 履修要綱 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/curriculum/youkou_nurse/</p> <p>3つのポリシー https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/outline/three-policy/</p> <p>評価と認定の基準 https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/disclosure/standard/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	西武文理大学
設置者名	学校法人 文理佐藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.bunri-c.ac.jp/data/finance_r02.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.bunri-c.ac.jp/data/finance_r02.html
財産目録	https://www.bunri-c.ac.jp/data/finance_r02.html
事業報告書	https://www.bunri-c.ac.jp/data/finance_r02.html
監事による監査報告(書)	https://www.bunri-c.ac.jp/data/finance_r02.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.bunri-c.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R02report.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.bunri-c.ac.jp/univ/wp-content/uploads/R02report-1.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 サービス経営学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/activity/mokuteki/ ）
<p>（概要）サービス経営学科は、豊かな人間性を持つ、実践的で柔軟な職業人の育成に注力するとともに、ホスピタリティ・ツーリズム、サービス・マネジメント、グローバル経済の各分野における経営および革新に資する学術研究を行うことによってグローバル社会と地域社会に貢献し、地域、日本にとって存在感のあるサービス経営学の教育・実践・研究活動の拠点的な役割を果たしていくことを目的とする。</p> <p>健康福祉マネジメント学科は、豊かな人間性を持つ、実践的で柔軟な職業人の育成に注力するとともに、健康福祉分野における経営および革新に資する学術研究を行うことによって地域社会と社会全般に貢献し、地域、日本にとって存在感のある健康福祉マネジメント学の教育・実践・研究活動の拠点的な役割を果たしていくことを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/outline/three-policy/ ）
<p>（概要）サービス経営学部では、所定の期間在学したうえで、卒業要件となる単位を修得し、以下の能力を有する者に「学士（サービス経営学）」の学位を授与します。</p> <p>(1) 知識・理解 サービス経営学の学問内容及び方法を理解する。</p> <p>(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。</p> <p>(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に感心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。</p> <p>(4) 総合的な学修経験と創造的思考力</p> <p>1) サービスに関する多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。</p> <p>2) 社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯に渡る自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって実践できる。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/outline/three-policy/ ）
<p>（概要）サービス経営学部では、サービス経営学の学修を通じて、豊かな人間性を持つ、実践的で柔軟な職業人を育成することを目的としています。こうした教育目的を実現するために次のような方針に沿ってカリキュラムを編成しています。</p> <p>(1) 豊かな人間性を育む総合教育を基礎として、実践性と柔軟な思考力につながる専門教育を積み上げ、キャリア教育と演習（ゼミナール）により学びの統合を図るカリキュラムを構築する。</p> <p>(2) 総合教育では教養教育を、社会理解、人間理解、環境理解、体育・健康理解、ホスピタリティとコミュニケーション理解として理解領域別に分類し、加えて大学での学修の基礎となるアカデミック・スキルにより学修を支援する。</p> <p>(3) 実践的で柔軟な専門性を修得することを支援することを目的として、2年次からの学科選択に合わせ、サービス経営学科では専門科目を、専門基幹科目と3つの専門コース科目群（「ホスピタリティ・ツーリズムコース科目群」、「サービス・マネジメントコース科目群」、「グローバル経済コース科目群」）に分類し、健康福祉マネジメント学科では、専門基幹科目と2つの専門コース科目群（「社会福祉コース科目群」、「健康サービスコ</p>

ース科目群」)に分類する。これは、学生が専門への関心にしがった系統的な履修を支援することを目的とする。

(4) 社会的・職業的自立に向けた基盤となるキャリア教育としてのキャリア開発を1年次からの必修に加え、さらに経験値をあげるために体験・実習科目を選択必修とすることによってアクティブな人材を育成する。体験・実習科目は、総合教育や専門教育などの講義で培った知識やスキルと体験による総合的な学修経験を得る。

(5) 学修を段階的に統合するために2年次より演習(ゼミナール)を設置する。演習(ゼミナール)はコースに対応した「ホスピタリティ・ツーリズム」、「サービス・マネジメント」、「グローバル経済」、「社会福祉」、「健康サービス」の5分野を準備し、4年次の卒業研究で4年間の学修の統合として創造的な思考力の育成を目指す。

入学者の受入れに関する方針(公表方法：<https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/service/outline/three-policy/>)

(概要) サービス経営学部の教育目的は、21世紀型の「豊かな人間性を持つ、実践的で柔軟な職業人の育成」です。21世紀のグローバルソサエティにおいては、世界と向き合い、生涯にわたって学び続け、協働してより良い社会をつくっていけるアクティブな人材の育成が求められています。

サービス経営学部では、ホスピタリティ教育を基盤として、こうした21世紀のグローバルソサエティに対応できるアクティブなサービス人材を育成するために、次のような人材を求めています。

- (1) 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢を持つ人
- (2) 他者と協働して協調的に学ぶ姿勢を持つ人
- (3) さまざま立場の意見を受け入れ、社会に貢献する姿勢を持つ人
- (4) サービス経営学を学ぶ上で、必要な基礎学力と論理的な思考力を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/outline/soshiki/>

3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/activity/mokuteki/ ）
（概要）看護学部・看護学科は、ホスピタリティ力を基盤に人間を全人的に捉え、人々の生活状況に対応できる看護実践力の育成に注力するとともに、地域の看護実践の質の向上に貢献し、人々の健康生活の実現への支援に積極的に取り組むことにより、地域にとって存在価値ある保健医療福祉の教育・実践・研究活動の拠点的な役割を果たしていくことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/outline/three-policy/ ）
（概要）看護学部では、所定の期間在学し、卒業要件となる単位を修得し、以下の要件を満たす者に学士（看護学）の学位を授与します。 (1) ホスピタリティを基盤として豊かな人間性を有している。 (2) 人間としての尊厳と権利を擁護できる能力を有している。 (3) 人間を身体的、心理的、社会的存在として総合的に理解できる能力を有している。 (4) 論理的判断力とクリティカルシンキングに支えられた看護実践に必要な専門的知識、技術、態度を修得し、個人及び集団の健康上の課題を適切に解決することのできる能力を有している。 (5) 看護専門職として対象者とその家族、地域住民などの多様な背景をもつ人々と信頼関係を築き、発展させる能力を有している。 (6) 保健医療福祉チームの中で看護専門職としての自律性を育むとともに、対象者とその家族、地域住民および他の専門職と協働する能力を有している。 (7) 国際的な視野で保健医療福祉分野の動向に目を向け、それらの解決のために国内外の保健医療従事者と相互交流や協働を行う必要性を理解できる能力を有している。 (8) 看護専門職者として常に主体的に自己研鑽につとめ、看護専門職の担うべき役割を追求する姿勢を有している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/outline/three-policy/ ）
（概要）看護学部の教育課程は、ディプロマ・ポリシーに挙げた教育目標を達成するために、(1) ホスピタリティ精神に基づいた豊かな教養を身に付け、総合的かつ自主的な判断能力を育成するための「教養科目」、(2) 個人・家族・集団・地域の理解、人間の健康と健康生活の理解及び人間の心と体についての基礎知識を学ぶ「専門基礎科目」、そして、(3) 看護実践に必要な専門知識・技術を学ぶ「専門科目」と、(4) それらを総合的に統合する能力を養う「統合科目」によって教育課程を構成している。 1. 教養科目：全学共通科目としての教養科目は、ホスピタリティ精神の理解と幅広い教養、総合的かつ自主的な判断能力を育成するための科目で構成され、主に1年次に履修する。選択科目を多く設け、初年度から主体的学修態度を培うことを目指している。教養科目は、①ホスピタリティとコミュニケーション、②人間理解領域、③社会理解領域、④環境理解領域、⑤外国語、⑥基礎ゼミナールの科目群から成り、必修科目と基礎ゼミナールは、専門科目の基盤になる科目として位置づけている。 2. 専門基礎科目：看護を学ぶ上で基礎となる「個人・家族の理解」「集団・地域の理解」「健康の理解」を深める科目で構成され、主に1～2年次に履修する。 3. 専門科目：看護・看護学を理解し、看護実践能力を身に付ける専門職者としての基礎を学修する科目で構成され、1年次から履修を開始し、主に2・3年次に学修する。専門

科目は、①支援基礎看護分野、②成育支援看護分野、③療養支援看護分野、④健康支援看護分野から成り立っている。

4. 統合科目：4年間で学ぶ諸科目を統合し、看護を総合的に洞察し、実践できる能力を培う科目で構成され、主に4年次に学修する。

5. 入学後早期より、ホスピタリティ論、基礎ゼミナール、看護とホスピタリティ I において主体的に学び探求することを理解し、大学で学ぶための学修スキルを身に付けるとともに、人間性の涵養の基盤として、人間的な温かい関係を築くことを学ぶ。また看護学への関心を高め、専門的知識と技術を習得するための専門科目と、看護の対象である人間を理解するための専門基礎科目を並行して学びながら、学年進行に従って基礎から応用へと専門性を深めることができる構成となっている。

6. 教養科目、専門基礎科目を基盤として、人間の発達段階や健康レベル、個と集団など多様な対象への看護を展開する能力を習得する専門科目では各専門領域の看護に関する知識と技術を学び、臨地実習科目で応用、統合できる構成となっている。

7. 看護専門職として主体的に学ぶ姿勢と倫理観を養うことができるように、4年間を通して、統合科目を配置している。また、4年次には、既習の知識と技術を統合し、より深い専門性と看護の本質を探究する能力を修得できるように、総合実習、卒業研究、看護総合演習などの総合科目を配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.bunri-c.ac.jp/univ/faculties/nurse/outline/three-policy/>）

（概要）看護学部は、ホスピタリティ教育を基盤に豊かな人間性を育み、専門的な知識と技術に裏付けられた的確な判断力と問題解決能力を身に付け、さらに社会の多様なニーズを鋭敏に察知し、保健医療福祉分野の課題に積極的に取り組み、人々の健康生活の向上と看護学の発展に貢献することのできる看護者の育成を目指しています。従って、看護学部では、次のような人材を求めています。

- 1) 人間や社会に対して興味と関心を持っている人
- 2) 相手の立場に立って物事を考え、他者を尊重できる人
- 3) 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人
- 4) 看護学を学ぶ上で必要な基礎学力と論理的な思考力をもつ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/outline/soshiki/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
サービス経営学部	—	19人	7人	7人	1人	0人	34人
看護学部	—	8人	2人	10人	9人	0人	29人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		86人				86人	

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/outline/soshiki/
c. FD (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
サービス経営 学部	280人	231人	82.5%	1,160人	1,072人	92.4%	20人	16人
看護学部	80人	89人	111.3%	320人	342人	106.9%	0人	0人
合計	360人	320人	88.9%	1,480人	1,414人	95.5%	20人	16人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
サービス経営 学部	177人 (100.0%)	0人 (0.0%)	140人 (79.1%)	37人 (20.9%)
看護学部	87人 (100.0%)	1人 (1.1%)	80人 (92.0%)	6人 (6.9%)
合計	264人 (100.0%)	1人 (0.4%)	220人 (83.3%)	43人 (16.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ホームページの授業科目一覧より、各授業科目のシラバスが閲覧できるようにしており、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することを明示している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

1. 学修の成果に係る評価
(評価)
西武文理大学では学則第 25 条において「履修科目の修了の認定は、その授業科目についての出席及び試験の成績等に基づいて行うものとし、それに合格した学生には、所定の単位を与える」こととしている。成績評価は、正しく履修登録を行った上で総授業回数の 3 分の 2 以上（実習では 5 分の 4 以上）出席し、科目ごとに定められた課題（試験等）を遂行した学生を対象として、科目担当者により行われます。科目ごとの評価の仕方（評価の方法、受講態度の加味の仕方等）については科目ごとに担当教員が作成するシラバスや履修要綱によって履修生に明示している。

履修した科目の成績は、S（優）、A（優）、B（良）、C（可）、D（不可）、F（履修放棄）、R（他大学履修単位）、P（合格）、N（不合格）によって示される。

(単位互換)
本学は、「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」・「彩の国大学コンソーシアム」の単位互換制度加入大学及び放送大学と単位互換制度の協定を結んでおり、30 単位を上限に単位を認定している。

(進級)
看護学部では、2 年次から 3 年次への進級に際し、2 年次後期までに開講されている必修科目のうち専門基礎科目及び専門科目の単位をすべて修得していることを条件としている。

2. 卒業の認定に当たっての基準
(卒業の要件)
学生は学則に規定する授業科目を履修し、サービス経営学部においては 134 単位以上、看護学部においては 126 単位以上を修得しなければならない。

(卒業の認定)
①サービス経営学部：卒業するためには 4 年以上（3 年次編入学生は 2 年）在学し、所定の単位を修得しなければならない。
②看護学部：卒業するためには 4 年以上在学し、所定の単位を修得しなければなら

ない。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上 限 (任意記載事項)
サービス経営学部	サービス経営学 科	134 単位	有・無	単位
	健康福祉マネジ メント学科	134 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	126 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/campus/ https://www.youtube.com/watch?v=jGc_yNdf_o0

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
サービス 経営学部	サービス 経営学科	810,000 円	300,000 円	150,000 円	施設費、教育充実費
	健康福祉 マネジメント学科	810,000 円	300,000 円	150,000 円	施設費、教育充実費
看護学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	550,000 円	施設費、教育充実費、実習費

※サービス経営学部では、履修科目により別途実習費を徴収する。

※看護学部で保健師選択履修をする学生は、別途科目履修費を徴収する。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学内外の奨学金制度を明示している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 各学部の委員会等による支援の内容を明示している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 担当部署について明示している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.bunri-c.ac.jp/univ/about/research/research/
--